

第4次岡崎市食育推進計画（案）の概要

基本理念

「食育」は 自らを育む “ひとづくり”

食を育むことは、命、心、愛、絆、信頼、人間関係を育み、未来も育みます。

食育は健全な社会を作るための土台であり、健康、文化、環境、農業など私たちの生活の質すべてに直結し、関与しています。

本計画では、食を通じて、人と人がふれあい、食をめぐる様々な問題について、ともに考え、ともに行動をすることができる「ひとづくり」を目指し、食育を推進しています。

目指すべき姿

食育を「学び」「実践し」「継承」する

第3次岡崎市食育推進計画では、市民が食育を「学び」、「実践し」、家族や学校、地域、事業者及び関係団体などで食育情報を共有し、市全体で「継承」することを目指すべき姿としてきました。

食を取り巻く環境は、ライフスタイル、価値観、ニーズが多様化してきていることに加え、社会情勢や新型コロナウイルス感染症の影響などにより大きく変化しており、改めて食育について考える契機となっています。

こうした状況を踏まえ、第4次岡崎市食育推進計画では、引き続き食育を「学び」「実践し」「継承」することを目指します。

基本方針 施策の展開

健康な「からだ」で
育む食育の推進

食と健康
食の安全安心

岡崎の「こころ」で
育む食育の推進

食とコミュニケーション
食文化

食と環境の調和
でつながる
食育の推進

食の地産地消
食と環境

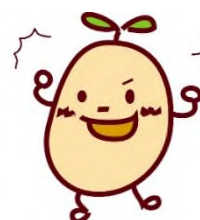
ひと・地域のつながりで育む食育の推進

食と協働

重点事項

おかざき食育やろまい

- 1 野菜摂取量の増加
- 2 朝食を欠食する人の減少
- 3 食文化の保護・継承
- 4 地産地消の推進
- 5 食品ロスの削減



計画期間中に市民、行政、関係団体など市全体で注力して取り組む事項を5つの重点事項「おかざき食育やろまい」として設定し、推進します。